

## 愛知県ヤングケアラー実態調査の結果を踏まえた取組について

### 1 愛知県ヤングケアラー実態調査

#### ① 調査概要

本来、大人が担うとされている家事や家族の世話などを日常的に行っている「ヤングケアラー」の実態を把握するため、2021年度に県内全域において「愛知県ヤングケアラー実態調査」を実施した。

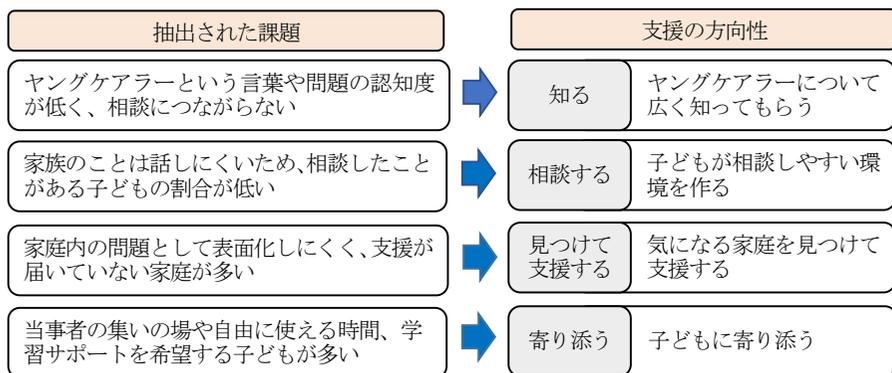
区分	対象/回答状況	
アンケート調査	児童生徒	県内公立小中高等学校（2割）の小5、中2、高2 30,597/37,728人【81.1%】
	学校	県内すべての公立小中高等学校 1,197/1,573校【76.1%】
インタビュー調査	元ヤングケアラー 8人 相談支援機関等 25機関	

#### ② 結果概要

- ・家族の世話をしている子どもは、クラスに3～6人。
- ・家族の世話をしている子どもの約4分の1が、やりたいけどできていないことがあると回答。
- ・子どもたちのヤングケアラーの認知度が低い。

	世話をしている家族がいる	やりたいけどできていないことがある	できていないこと	ヤングケアラーという言葉を知ったことはない
小5	16.7% 【6人に1人】	23.9%	・自分の時間が取れない ・睡眠が十分にとれない	74.4%
中2	11.3% 【9人に1人】	23.3%	・宿題をする時間や勉強する時間が取れない	69.9%
高2 (全日制)	7.1% 【14人に1人】	23.0%	・友人と遊ぶことができない	66.1%

#### ③ 調査により抽出された課題と支援の方向性



### 2 今年度の主な取組

- ① 子ども向け啓発事業  知る  相談する  
子どもたちがヤングケアラー問題を正しく理解し、当事者が自ら相談できるよう、ヤングケアラーの声や相談先等を掲載した子ども向けパンフレットを配布  
配布対象：県内すべての国・公・私立小中高等学校の小学5年生～高校3年生（約1,700校・54万人）  
配布時期：2023年1月頃
- ② 広報あいちの特集  知る  相談する  見つけて支援する  
7月3日の広報あいち（中日・朝日・読売・毎日の各新聞朝刊）に特集記事を掲載
- ③ 県政お届け講座の開催  知る  見つけて支援する  
団体等からの求めに応じて職員を派遣し、「ヤングケアラーって何だろう？」をテーマとした講演を実施
- ④ ヤングケアラー理解促進シンポジウムの開催  知る  見つけて支援する  
一般市民、教育機関、児童福祉関係機関等関係者を対象に、ヤングケアラーの理解促進を図るためのシンポジウムを開催  
開催日・場所：8月2日、ウイंकあいち（オンライン併用）  
参加者：513名（会場102名 オンライン411名）
- ⑤ ヤングケアラー支援関係機関研修の実施  見つけて支援する  
市町村関係者（福祉・教育）、学校関係者（SSW）、児相職員等を対象に、ヤングケアラーの気づきのポイントや具体的な支援に関する研修を県内各地で開催  
開催日程：2022年9月～10月（6会場）  
参加者：196名
- ⑥ 市町村モデル事業  知る  相談する  見つけて支援する  寄り添う  
身近な地域で「4つの支援の方向性」に基づいた効果的な支援が行われるよう、市町村にモデル事業を委託し、ヤングケアラーの発見・把握から支援までの一貫した支援体制の整備に取り組む。  
委託市町村数：3自治体  
委託期間：2022年10月～2025年3月  
3年間の主な委託内容：子ども向け相談の場や支援者向け相談窓口の設置  
支援者向け研修会の開催、関係機関連絡調整会議の開催  
当事者向けコミュニティサロンの開催
- ⑦ ヤングケアラー・コーディネーターの配置  知る  相談する  
関係機関が連携する際のパイプ役となるコーディネーターを配置し、ヤングケアラーへの理解促進や支援方法に関する助言を行う。
- ⑧ ピアサポーターの募集・養成研修の開催  相談する  寄り添う  
大学等において、ピアサポーターを募集するとともに、養成研修を開催